

スポーツ庁委託事業

令和5年度

長崎県令和の日本型学校体育構築支援事業

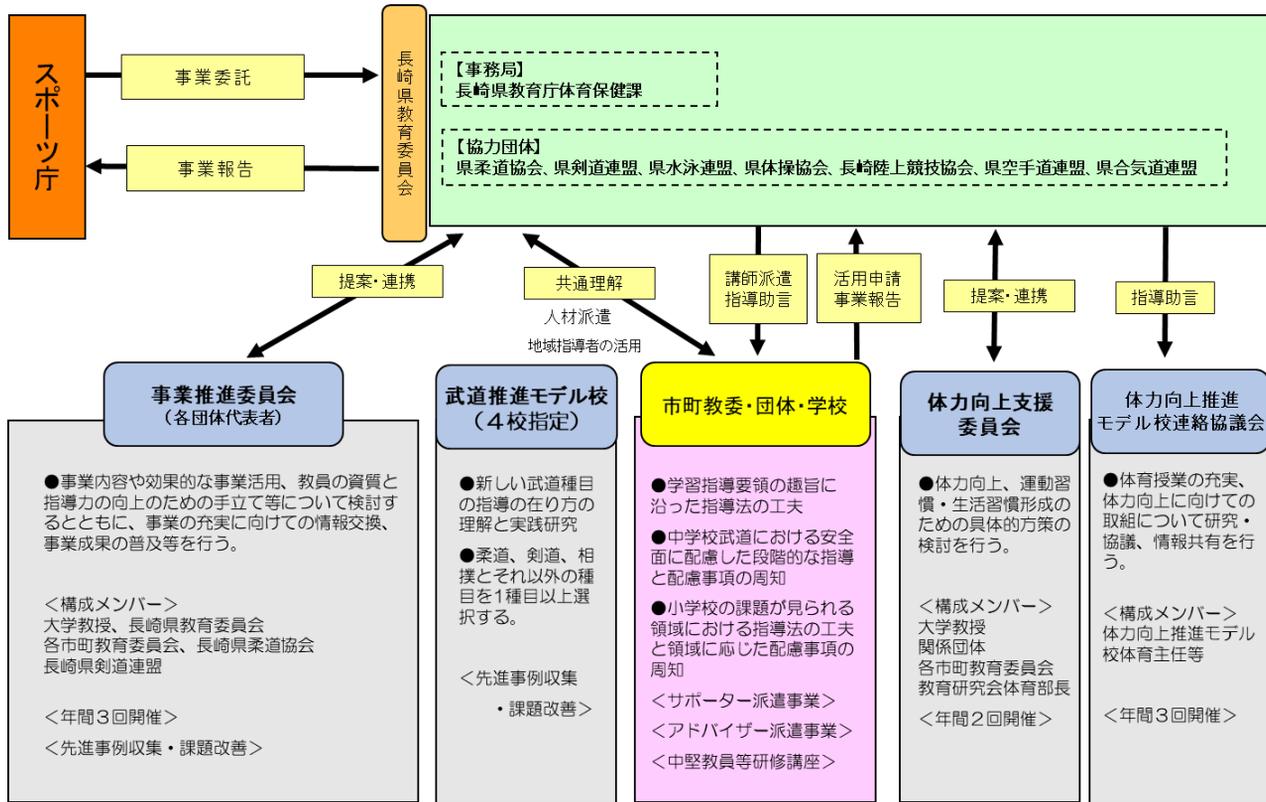
事業報告書

長崎県教育委員会

# 事業の目的

長崎県における武道等の指導の充実及び教員の資質と指導力の向上を図ることを目的としています。主に中学校武道における発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、小学校教員で指導に不安を感じる等の課題が見られる領域について、教員の指導力の向上を図ります。

# 研究組織



# 実施体制

## 事業推進委員会

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係競技団体代表者等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業等について検討するとともに、事業の充実に向けた情報交換を行う。

- 第1回 7月 3日 (月) 県庁会議室  
「事業のねらいと取組について」
- 第2回 12月 19日 (火) 県庁会議室  
「武道推進モデル校VTR視聴 空手道」  
「事業進捗状況報告」
- 第3回 1月 30日 (火) 県庁会議室  
「事業報告及び次年度へ向けて」



# 事業内容 (実践事例)

## 1 実技指導者研修会

指導に不安を感じている教員の指導力向上や資質向上を図る。専門性の高い大学教授等を招聘し、学習指導要領に基づいた安全面に配慮した段階的な指導法について講義と実技を行う。

- 【柔道】10月19日(木) 県立総合体育館 講師 全日本柔道連盟 普及部長 田中 裕之 氏
- 【剣道】11月14日(火) 県立武道館 講師 福岡教育大学 教授 本多 壮太郎 氏
- 【ダンス】12月6日(水) 小野体育館 講師 岡山理科大学 助教 河合 史菜 氏

### 【受講者の声】

初めて取り組む生徒たちがほとんどなので、痛さや恐怖心を和らげるような指導方法を学ぶことができてよかった。来週から実際に授業を行う予定なので、早速できる範囲で取り入れていきたいと思う。



## 2 指導力向上研修会

課題のみられる領域の研修を行い、指導力向上を図る。

- ・指導力向上セミナーⅠ「小学校の体育授業づくり」 8月22日(火) 講師 筑波大学 准教授 三田部 勇 氏
- ・指導力向上セミナーⅡ「中学校・高等学校 体育の授業づくり」 10月25日(水) 講師 愛媛大学 教授 日野 克博 氏



### 【受講者の声】

- ・子供にとっては楽しい運動、その裏にしっかり教師の意図を入れることが大切だということを再確認できました。
- ・子供たちが楽しみながら運動量を確保でき、体力の向上を図ることができる手立てをたくさん学ぶことができました。

## 3 体育学習サポーター派遣 (中学校の武道、ダンス・小学校の課題が見られる領域の授業協力)

武道、ダンス及び課題が見られる領域について、地域指導者(退職保健体育教員や競技団体指導者等)を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、教員(T1)の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。

派遣時間: 246時間

小学校: 202時間

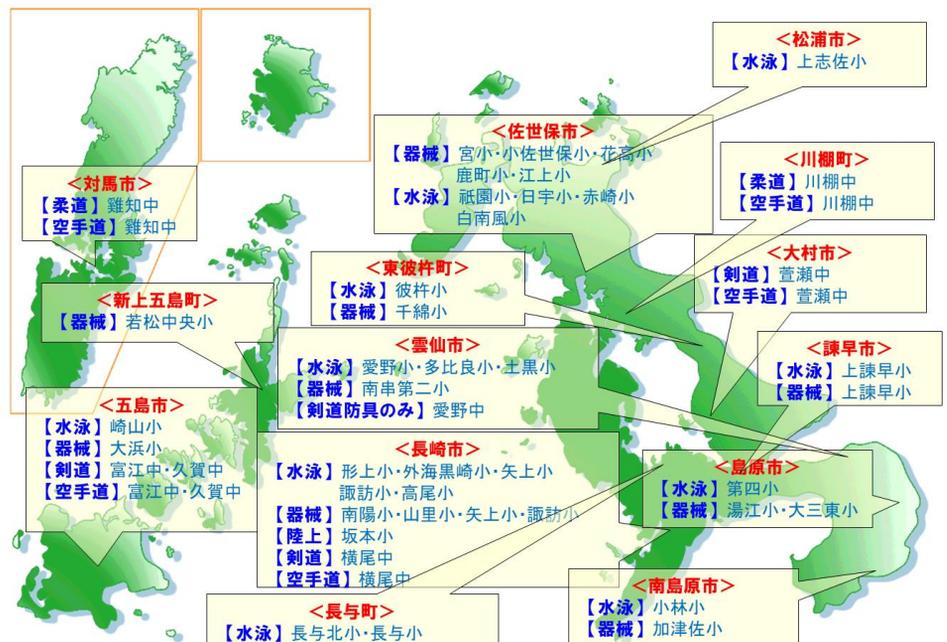
中学校: 44時間

小学校: 課題が見られる領域

- ・器械運動 17校
- ・水泳 20校
- ・陸上運動 1校
- 計 38校

中学校: 武道及びダンス

- ・柔道 2校
- ・剣道(防具のみ含む) 5校
- ・空手道 6校
- 計 13校
- 合計 51校



## 4 中堅教員等研修講座 (各地区におけるミドルリーダーの育成)

各市町教育委員会指導主事及び郡市研究会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成することで、体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

※ 受講者 19名

日時 11月24日(金)

会場 県庁会議室

講師 日本女子体育大学 教授 高橋 修一 氏

内容 講義及び質疑応答「学習指導要領に基づいた授業づくりについて」



### 【受講者の声】

講義の中で紹介していただいた「導入」はインパクトが強く、ぜひ今後の授業に活かしたいと思いました。知識伝達型になることなく、どの単元でも生徒たちが興味・関心を持って授業に臨めるよう工夫をしていきたいと思いました。

## 5 武道推進モデル校指定校研究

複数の武道種目を行う「武道推進モデル校」を4校指定し、生徒がより多様な武道種目に触れる授業の実践研究を行い、課題を明らかにして、その改善に向けた方策を検討する。柔道、剣道、相撲とそれ以外の種目を1種目以上選択し、研究を図る。

- |              |            |       |                         |
|--------------|------------|-------|-------------------------|
| ・長崎市立戸町中学校   | 合気道 (10時間) | 外部指導者 | 合気道悠歩塾 代表 磯部 三男 氏       |
| ・長崎市立淵中学校    | 空手道 (10時間) | 〃     | 日本空手道連合会九州地区協議会 中平 良一 氏 |
| ・佐世保市立大野中学校  | 空手道 (10時間) | 〃     | 日本空手道朋城会 館長 張原 啓吾 氏     |
| ・佐世保市立小佐々中学校 | 空手道 (10時間) | 〃     | 日本空手道朋城会 館長 張原 啓吾 氏     |



## 6 体育学習アドバイザー派遣

各市町教育委員会及び各郡市町の教育研究会体育・保健体育部会主催の研修会について、主に県教育委員会指導主事や大学教授等を派遣し、学習指導要領に基づき、内容の周知及び活用の促進を図る。

島原市教育研究会体育部会	諫早市小学校教育研究会体育部会
諫早市中学校教育研究会保健体育部会	対馬市小学校教育研究会体育部会
壱岐市小・中学校教育研究会保健体育部会	五島市小学校教育研究会体育部会
五島市中学校教育研究会保健体育部会	西海市教育研究会体育部会
東彼杵郡教育会小学校体育部会	

### 【実施団体の感想】(一部抜粋)

子どもたちが皆ゲームに没頭し、ゲームの楽しさを存分に味わっていた。ねらいをおさえた授業づくりと日頃からの集団づくり指導の成果が見られるものだった。受講者からは、県体育保健課指導主事の指導助言によって、授業づくりへの理解が深まったという感想が多くあった。



## 7 体力向上支援委員会

専門的な知見を有する大学教授や関係団体、市町教育委員会指導主事、市町教育研究会体育部長からなる体力向上支援委員会を設置し、子供の体力の向上を図るため、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の詳細な分析を行うとともに、子供の体力の向上や運動習慣、生活習慣の改善等に資する具体的方策を検討する。

講師 熊本大学教育学部 准教授 末永 祐介 氏

第1回 11月29日(水) 県庁会議室  
「体力向上に向けた取組について」

第2回 1月22日(月) 長崎市立東長崎中学校  
「保健体育科授業の改善・充実」



## 8 体力向上推進モデル校連絡協議会

長崎県教育委員会体力向上推進モデル校の小学校体育科教科担任等に対して、学習指導要領の趣旨の再確認と全国・本県児童の体力の現状や課題をもとに、体育授業の充実を図ることや、自校の体力向上を図るための具体的な方策について研究・協議することで、効果的な実践を図る。

第1回 8月22日(火) シーハット大村  
実技「小学校の体育授業づくり」

第2回 11月7日(火) 諫早市立みはる台小学校  
授業研究会「公開授業・授業研究会 参加」

第3回 1月31日(水) 長崎市立高城台小学校  
授業研究会「公開授業・授業研究会 参加」



## 9 親子体力向上実践セミナー

離島地域の市町教育委員会、開催校または開催校PTA主催のセミナーに子供の教育についての深い理解とスポーツに関する専門的な知識や指導技能を有した講師を派遣し、学校・保護者・地域の連携によって、今後の子供たちの体力向上や望ましい生活習慣の形成を目指す。

壱岐市立那賀小学校	壱岐市立鯨伏小学校
新上五島町立魚目小学校	

### 成果と課題

#### (1) 成果

- 事業推進委員会において、本県の課題を明らかにし、次年度に向けての方向性を示すことができた。
- 実技指導者研修会(柔道、剣道、ダンス)を3回開催することにより、参加者のニーズに応じた研修会を設定することができた。開催場所についても県北、県央、県南の分散開催を行うことができた。
- アドバイザー派遣事業では、学習指導要領に対応した授業づくりや評価について、各地区部会のニーズに応じて指導・助言を学習を行い、理解を深めることができた。
- サポーター活用において、専門的な知識を持った講師を派遣することができた。また、指導方法や児童生徒との関わりを通じて、教師が指導方法を学ぶことができた。
- 中堅教員等研修講座においては、保健の授業について理解を深めることができた。また、評価についても情報共有を図ることができた。
- 武道推進モデル校指定校研究においては、継続的に行うことで生徒の意欲にも高まりが見られた。また、複数の武道を行うことで生徒の関心意欲の高まりが見られた。
- 体力向上支援委員会では、長崎県の課題解決に向けた新たな取組や体育授業の改善について、検討することができた。

#### (2) 課題と今後に向けて

- 事業を行う際にターゲットを明確にした取り組みを行うことで、事業活用の促進を今以上に図りたい。
- 体力向上に向けて運動を行うことの楽しさとともに運動を行う価値の大切さも伝えていきたい。
- 事業内容を検討する際に長い中長期的視点で検討を行いたい。
- 親子体力向上セミナーが効果的であったため、事業を広く周知したい。